

2023年度ガス保安功労者
経済産業大臣表彰及び産業保安監督部長等表彰について

2023年度のコミュニティーガス事業関係者の受賞者・受賞予定者数等の状況は、次のとおりとなった。

経済産業大臣表彰受賞者 表彰実施日 : 2023年11月9日

ガス製造・供給 0件、ガス小売事業者 0件、ガス工事業者 2件、

個人 20件、団体 1件、合計 23件

*コミュニティーガス事業関係

個人 8件

(北海道支部 1件、関東支部 2件、東海支部 1件、近畿支部 1件

中国支部 1件、九州支部 1件、沖縄支部 1件)

年度 \ 区分	ガス製造・供給 ガス小売事業者	ガス工事 業者	個人	団体	合計
2018年度			7		7
2019年度			5	1	6
2020年度			6		6
2021年度			6		6
2022年度			5		5
2023年度			8		8

(2) 産業保安監督部長等表彰

ガス製造・供給 0件、ガス小売事業者 2件、ガス工事業者 0件、

個人 22件、団体 0件、合計 24件

年度 \ 区分	ガス製造・ 供給 ガス 小売事業者	ガス工事 業者	個人				団体	合計
			主任	永年	その他	計		
2018年度	1		11	12		23	1	25
2019年度			17	8		25	1	26
2020年度			10	15		25		25
2021年度	2		13	6		19		21
2022年度			12	8		20		20
2023年度	2		15	7		22		24

以上

2023年度ガス保安功労者産業保安監督部長等表彰

	ガス製造・ 供給事業者	ガス 小売事業者	ガス 工事業者	ガス主任 技術者	永年 勤続者	個人の部		計	団 体	合 計	表彰年月日
						その他					
						保安業務 監督者	その他				
北海道					1			1		1	10月19日
東北					2			2		2	11月13日
関東				3	1			4		4	11月02日
東海				2				2		2	10月20日
北陸				2				2		2	10月30日
近畿		1			1			1		2	10月24日
中国		1		4				4		5	10月23日
四国				1	1			2		2	10月05日
九州				1	1			2		2	11月20日
沖縄				2				2		2	11月28日

2024年度 本部年間主要行事予定表 (案)

2023年11月6日 現在
一般社団法人日本コミュニティーガス協会

		定時総会	理 事 会	常任理事会	業務委員会	技術委員会	事務局会議	そ の 他 委 員 会
2023 年 度	2024年 1 月		1 9	1 9	1 9	1 9		1 9 総務委員会
	2 月						1 6	
	3 月		1 5	1 5	6	7		1 5 総務委員会・保安委員会
2024 年 度	4 月							
	5 月		1 7	1 7	8	9		1 7 表彰選考委員会・総務委員会・(正副会長会議)
	6 月	1 9	1 9	1 9			2 0	
	7 月				1 0	1 1		
	8 月							
	9 月		1 9～2 0 (P)	1 9～2 0 (P)				
	1 0 月				1 0～1 1	1 7～1 8		
	1 1 月		1 3	1 3			2 2	1 3 総務委員会
	1 2 月				1 1	1 2		
	2025年 1 月		1 7	1 7	1 7	1 7		1 7 総務委員会
	2 月						2 0	
3 月		1 4	1 4	5	6		1 4 総務委員会・保安委員会	

- (注) 1. *印は地方開催を示す。
 [開催地] *理事会、常任理事会： *業務委員会： *技術委員会：
 2. 現在、確定しているものは、_____で示した。
 3. 2024年度経済産業大臣表彰式は、2024年11月14日(木)開催予定。
 11月開催の理事会等諸会議は、「ガス保安功労者経済産業大臣表彰式」の日程により、変更があり得る。

業 務 委 員 会 関 係
2023年度 第3回 (2023/10/12)
審 議 概 要

I 審議事項

なし

II 報告事項

1. 支部報告

なし

2. 事務局報告

(1) グリーンLPガス推進官民検討会（第4回）について

今回の会議から消費者団体（リアル参加）・マスコミ（Web参加）等を交えての会議となった。

プロジェクト毎のグリーンLPガスの技術開発状況は、次回（10月30日開催）の検討会で確認し、共有化する。今回は「CNLPGの導入状況（事務局）」、「『CO2棟を用いた燃料製造技術開発』プロジェクトに関する国内外の動向（METI）」「カーボンオフセットLPガスの取組み（サイサン）」、「地域マイクログリッド（いすみ市）」「高効率給湯器普及促進リーフレット（日協）」等について報告されたことを説明した。

(2) 水素混合LPガスの供給利用について

福島県相馬ガスにおいて岩谷産業が行っている、一般ガス（PA13A）・コミュニティーガスによる「水素混合LPガスの供給利用に関する調査」結果がNEDO水素・燃料電池報告会で発表され、同内容につき当協会に説明があった。

法規制、業務用機器の評価等まだ課題が多いことから2023年度以降も調査検討を継続する。一般ガスは導管に铸铁管を使用しているため協議中となっている。一方、コミュニティーガスはSGP管を使用しており水素混合LPガスの供給に問題はない。ただ現在使用中のガス機器の関係で、当初予定の水素25%混合LPガスの使用は難しく、10%混合となる見込み。2024年度もNEDO助成事業に応募予定であり、コミュニティーガス利用の公営住宅において事業実施を検討している。

(3) 鹿追町瓜幕バイオガスプラントについて

北海道鹿追町環境保全センターのバイオガスプラントを見学し、概要を報告した。鹿追町は酪農・畜産・畑作を主とした街であり、牛の糞尿からバイオガスを生産し、一部は精製圧縮し都市ガスの代替燃料やハウス加温機、車両に利用しているが、そのほとんどは発電燃料とし、FIT制度により売電されている。また、バイオガスの一部は、さらに水素製造装置を経て燃料電池自動車燃料として利用されている。

(4) 経過措置料金規制指定団地の指定解除について

2024年3月1日までに見込まれる指定団地数・自由化団地数及び特別な事後監視対象団地数の推移について事務局より説明した。ガス事業法改正前の2017年3月末より176件の減少となる見込み。また経過措置指定団地は809団地となる見込み。

(5) 令和5年度 第1四半期の特別な事後監視の結果について

対象期間における調査・検証・確認を行った結果、不適切な値上げは無かった（合理的でない値上げは認められなかった。）。

(6) 行政における定期的評価マニュアルの改訂について

ガス市場整備室から、題記マニュアルの改訂につき、事前説明及び通知があった。改定内容は、標準係数の告示に合わせ、評価実施期間を2023年度下期とするもの。

(7) 既存賃貸集合住宅におけるエコジョーズ化について

資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課より、賃貸集合住宅の給湯設備につき、高効率化を進めたい。エコジョーズ化につき令和6年度予算に計上する。また令和5年度補正予算についても計上することで検討している。コミュニティーガスには賃貸集合住宅が多いと聞いている。月別の給湯器設置動向（補正予算に繰り込むため）、賃貸集合住宅オーナーへの支援方法、資金補助の方法、制度のPR方法等につき意見を聞きたいとのこと。

業務部から業務委員に対し、急遽アンケートを行い、取りまとめたレポートを提出した。その報告内容につき、理解に齟齬がないか業務委員に確認し、了解を得た。

(8) 2023年度料金算定規則（標準係数）の改訂について

今年度は3年に一度の標準係数改訂時期であり、昨年度から原案作成、協議を行い、8月31日に公布された。労務費・工事資材等が上昇しており、算定料金が引上げとなる改定となった。

(9) 2023年度認知度向上ポスターについて

印刷会社各社より提出された「コミュニティーガスって、どんなガス？」をテーマにしたデザインについて、事前に投票を行い、上位作品の中から、見積金額・これまでの採用実績等を勘案し、採用作品を決定した。今年度のポスターは11月上旬に支部宛て発送され、その後支部より会員事業者に配布される。

(10) コラボ活動について

- ① コージェネ財団発行のかわら版「スマートアクション」を紹介した。
- ② 日本LPガス団体協議会が「消費と生活」誌に掲載した、記事「災害時に威力を発揮するLPガス」と広告「知ってる!?災害に強いLPガス」を紹介した。
- ③ ウィズガスCLUB主催の「暮らしの未来シンポジウム2023」の開催を案内し、可能な限りリアル出席をお願いした。

(11) 事業用原料の需給・価格変動等について

事業用原料の需給・価格動向等(海外マーケット動向)につき、目黒委員が説明された。

(12) その他

次回2023年度第4回業務委員会は12月6日（水）15時から協会本部にて開催する。

以上

技術委員会関係
2023年度 第3回(R5/10/26)
審議概要

【第3回技術委員会】

1. 委員（支部状況等）報告について

今井委員長より、関東支部では近年ガス切れが多かったことを踏まえ、11月以降に注意喚起文書を発出するよう事務局に依頼している旨報告があった。

2. 事故事例研究

以下の事故につき、委員からの報告をもとに原因の分析、再発防止対策等事例研究を行った。

- ① 7月3日九州支部で発生したサンドブラストによる差し水を原因としたガス供給支障事故

3. グリーンLPガス推進官民検討会（第4回）について

事務局より、7月10日に開催された標記検討会について、その概要を説明した。

今回の検討会から消費者団体が参加することになり、また、マスコミ向けにオンライン公開となったことが報告された。

検討会事務局等より、グリーンLPガスの推進等の取組に関し8テーマのプレゼンテーションがあったことやそれに伴う質疑応答があったことを報告した。

4. 水素混合LPガスの供給利用に関する調査事業について

標記について、岩谷産業(株)や相馬ガス(株)等が実施したNEDOの調査事業の概要を事務局より説明した。

PA13A及びコミュニティーガスについて、水素を混合した際の水素混合設備から消費機器までの調査の結果、コミュニティーガスについては、水素混合率10%程度であれば可能であることが分かった。実際のコミュニティーガス団地において水素混合ガスを供給するべくNEDOの助成事業に応募したことを報告した。

5. 水素混合ガス燃焼機器の安全性能に関する技術基準の策定等調査事業について

経済産業省の委託事業である標記の調査事業をJIAが受託し、都市ガスやLPガスに水素を混合した際の消費機器の安全性の評価について調査することとなった。また、第1回の検討委員会が7月に開催され、調査内容等が示されたことを報告した。次回検討委員会は12月に開催され、中間報告がなされる予定。

6. 鹿追町瓜幕バイオマスプラントについて

事務局より、北海道にある標記バイオマスプラントについてその概要を報告した。

鹿追町では、乳牛等のふん尿について適切な処理を行う際、バイオマスの資源化を目

的としたバイオガスプラント等を建設した。バイオガスを発電や熱源に利用し、また、発生する消化液から堆肥やコンポスト化する等、地域資源循環型プラントであることを紹介した。

7. 高圧ガス保安法等の一部を改正する法律について

事務局より、2021 年度に閣議決定された標記法律に関して、本年 9 月に法律の施行日や認定高度保安実施者の認定に係る有効期間等が規定された政令が閣議決定されたことを報告した。

8. 2023 年上期ガス事故発生状況について

事務局より、2023 年上期のガス事故発生状況を以下のとおり報告した。

ガス事故発生件数は、以下のとおり。

総発生件数 9 件（内訳：製造 4 件、供給 2 件、消費 3 件）前年同期比：1 件減
段階別の前年同期との比較は以下のとおり。

製造段階：3 件増 供給段階：2 件減 消費段階：2 件減

9. 2022 年度末時点における経年内管対策状況の調査結果について

事務局より、標記調査結果を報告した。

2022 年度末における保安上重要な建物における未対策の腐食劣化対策管残存数は、1,529 本であり、そのうち公的施設 710 本、民間施設 819 本であった。また、民間施設のうち学校や病院など公的施設に準ずる建物に残存するのは全支部で 6 本であった。

導管改修に関する需要家の理解を得るため、各種業務機会を通じて定期的な周知・啓発の実施を要請した。

以上